

開催日時	平成26年2月27日(木) 午後7時30分～午後9時		
会場	白岩ふもと公民館	出席者数	24人
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>① 麓地区に昭和45年から小学校から三津家まで危険地域が認定され整備事業を行っているが、途中100mほど民家無く認定を受けていない箇所がある。通学路でもあり生活道路でもある。崩れてくる状態にある場所がある。立木伐採など民有地で県は手を付けられない。民家がなくとも危険区域に認定して、整備してもらいたい。</p> <p>→ 認可がなくとも通学路になっている。万一のこともあるので県の方に話しをして、整備をしていただくように対応していきたい。</p> <p>② 麓地区は長い町、国道であったときは排水路・除雪があったが、排水路関係が、不動尊の附近が一番高く詰まっている。整備をお願いしたい。</p> <p>→ 排水路は、県の視察の時は良い状態を見ているのでは。悪い状況を捉えて視察してもらって整備を急いでもらう、検討してもらうように進めていきたい。</p> <p>③ 社会基盤の充実に努められ安全安心の生活ができることに地区民を代表して御礼。昨年5月に白岩地区町会連合会を代表して要望を申し上げた白岩バイパスと市道宮内線を結ぶ道路の拡幅工事、通称老福センターから白岩老人ホームを結ぶ線の道路が狭くて車がすれ違えない。冬には滑落事故も起きており危険な状態。早急に計画改良実施をお願いしたい。</p> <p>→ 老人福祉センターのそばの国道112号について私も気にかけている。道路を整備していく中で、いずれ直していくものであるが、緊急性必要性の高いものから調査をし、優先順位をつけて、順位の高いものから取り組んでいくという基準を設けている。この箇所もまな板にのっている。順位を上げてほしいという要望かと思う。私もできるだけ早く整備に成るように努力したい。</p> <p>④ 農業問題について、老人クラブの老人学校で、福祉センターで野菜の作り方の講演をきいた。ビタミンが多いという機能性野菜について初めて聞いた。機能性野菜を作って家族の健康、若い人に寄与できる。新しい人々を造る。珍しい野菜づくりで新しい社会に参加。老人が小規模で小マーケットを造るサポートをお願いしたい。</p>			

→ 機能性野菜とはどういうのか。農業を担っている年代は中高年になっている。そういう方々の健康づくり、いきがいつくりを含めて、新しい農業に挑戦していくようなことを進めていく、近くに手本があれば普及して作っていくことが重要なことと思っている。

60周年記念事業で生涯学習の振興のために、さくらんぼ大学を作っていく。公民館でやっていたものを集大成して、7,8カ所学部を設けて勉強していただくことにしている。当然、農業分野でもさきほどの先生などを講師になっていただいて、興味のある方、してみたいという方を育てていく、あるいは一緒になって進めていく。実際取り組んでいる人の製品を提供していくような場を作っていくということになれば、意図した生涯学習の実践の場が確保されることで素晴らしいことになる。そういうことを教育委員会に申し上げて、そういう方向で大学を作っていきたいと思います。

⑤ 大江町、西川町では県外から農業者を誘致している。農業の活性化、エネルギーとなるように、この地区も必要なのではないか。

→ 新規就農者は本市では、毎年二桁の方がなっています。都会から入って来るだけでなく、跡継ぎや大学卒業の若い人もあります。全体の農業人口からするとまだまだ少ない。国・県の支援制度もある。活用しながらとりくんで、農業が魅力的な職業としてやっていけるようにしていく。寒河江の特産の伝統野菜を広げていく、ブランド化していかなければならないと考えている。地域の中で苗を出さないということもあるようです。解決しながら普及させていく。寒河江の特産品を作っていく。野菜も量がまとまれば寒河江のブランドとしてなりたっていくと思いますので、勉強して取り組んでいきたい。

⑥ 北海道から息子たちが4人来た。百姓をしている。年寄だけでなく、ふるさとを活性化していただきたい。食べていけないところではためだ。寒河江は農業地域なのか、工業地域なのか、どちらでいくのか明らかにしてほしい。大平山で、ひとりで開墾している。「あきたこまち」しか植えられない。農業を頑張ってもらいたい。白岩の山蔭に広大な土地がある。土地の有効利用も考えて魅力ある地域にしてもらいたい。

→ 寒河江の10年20年30年後の将来の姿、どうすれば良い町になるか。商業・工業の町ということにはならない。そういうところは必要であるが、基本は農業で、さらに商業・工業地帯もある。特色ある農業を育てていくことが、寒河江が生きていく道ではないかと思っている。あるべき方向をどうまとめていくか。ご提案ご意見をいただきたい。

⑦ 2040年の人口は寒河江市全体で25%減、白岩は下手にすると4分の2に減ってくる。西隣に空き家が増えてきている。10年もするとだいぶ様変わりす

ると感じている。減っていくと一つの集落、町としても成り立たなくなると感じている。将来のこうしたことへの対策について伺いたい。20年先は遠い将来ではない。現段階での市の方向性を伺いたい。

→ 難しいご質問です。将来何もしないとうくなるという指標なので、こうならないように皆で努力し、そのためにはどうしていくか考えていくのが一点です。白岩地区も多くの人が集まってくる場所にしていくなことが必要です。全国的にみると限界集落が増えている。高齢者の人しかいないような集落が増えてきているというのが現実です。白岩地区はそうならないのではと思う。他の地域のことを考えると、行政としてテコ入れをしながら、地域で生きていけるよう、地域の中でいきがいを持って生活できる拠点施設を確保していくのが必要と思っています。集約型の行政でなく細かい地域分散型の行政手立てが講じられるような施策が必要と思っています。情報通信の技術発達などを駆使して不自由が生じていかないように手立てを講じる。行政コストがかかっていくが、地域の皆さんが生活していくためには必要。行政施策の方向転換が必要。今の時点で方向転換をしている自治体は見受けられないが、そうなってくると思います。西郡全体でも過疎集落が増えてくる。そこに住み続ける人がいる。手立てを充実していく必要になってくると思います。

⑧ 白岩地区ではぬくもりの里のマップを作っている。私は白岩中学校の卒業36年会で、還暦の祝う会に東京の支部に寒河江市のパンフレットを持って行った。仙台会などに情報を発信することも手立ての一つと考える。

→ ありがとうございます。

⑨ 小学校で出している『たかだい』という文集を見た。市のスキー場がないということがでていた。葉山牧場が閉鎖になるということが言われている。南斜面であるが雪が多い。あの地域にスキー場を建設して、閉鎖になっている田代小学校の活用を考えてできないものか。

→ スキー場の話ですが、2月1日に市内小学校6年生代表が集まって、商工会青年部主催で子ども議会をやりました。一人が議長であとは議員席に座り、一人ひとり意見表明して市長の施策を質すことになりました。スキー場がない、ショッピングセンターがないなどいろいろ要望が出ました。スキー場ですが、葉山牧場はいいスキー場の候補地になるのではないかと思います。今まで田代地区にもロープウェイだけのスキー場があった。この間の雨で崩れて復旧できないでいる。小学校は閉校になりました。そういうことが子どもたちの要望にありました。小学校跡地もどういうふうにしていくか、地域の中で考えていただいて、間もなく利活用についての取り組みがスタートします。学校だけでなく田代地域全体を再構築していく、活性化していくための施策、計画を作っていただいているので、そ

の中でスキー場なども案の一つだと思います。佐藤繊維の社長などは、アルパカを飼って放牧したいと言っているようなのですが、将来を考えていただくごとはありがたいことだと思っています。

⑩ 農業分野の紅秀峰の里づくりで、東根市がさくらんぼ生産量日本一ですが、知名度は寒河江市が日本一だと自負している。これも行政、農協、農家の方ががんばっている表れだと思う。市でこういう予算を付けていただいて感謝申し上げる。

→ 紅秀峰については、さらに頑張っていかなければならないと思っています。去年から台北にも輸出できないかということで持っていきましたが、今年も台北の百貨店で試食販売をしてみたい。問題は輸送です。遠いし暑い。なるべく荷傷みを少なくして、7月上旬の一番良い時期に持っていきたい。去年は6月下旬のフード台北にあわせて持って行ったものですから、傷んだものも出たんですが、頑張っていきたいと思っています。台北に持って行って売っても必ずしも儲からない。農家の皆さん、寒河江市民にとっても輸出しているということで自信になっていくので、取り組んでいきたい。

⑪ 2040年には全国で人口1億人を切るであろうといわれている。定住者を増やしていきたい、小住宅団地を増やしていきたいという話があったが、ある町では若い世代に税金の優遇措置を行っていると聞いている。子どもが産める若い世代に寒河江に来てもらえるよう税金の優遇措置なども考えていただきたい。

→ 子育て支援ということで、税金を安くしてはということではありますが、今後検討してみたいと思います。住宅建築の補助制度があります。子育て世代が住宅を建てるときに支援する制度があって、市外から子育て中の家族が住宅を建てると100万円を支援する。去年は2,000万円の予算で2ヵ月ぐらいでなくなりました。今年は倍にして4,000万円に増やした。効果があると思っています。

⑫ 財政健全化の取り組みで実質公債費率18%が基準値とある。比率が下がっていることは健全化に向かっている低ければよいと理解していいのか。

→ 実質公債費率18%が標準とかいてあります。超えるとよくないという限界値が18%。低くなるほど良くなるということで、25年度末の見込み15.1%、26年度末は14.9%になっていく。借金しないと低くなる。

⑬ 市のアンケートが配布になった。議員定数、休んだ時の報酬、議会に出したもので、あまり関心がなかった。具体的に分かりやすい説明がほしかった。

→ 議会に伝えます。

⑭ 7月18日の集中豪雨。上野地区は記憶のないほどの大水で道路がつぶれた。地権者60名ほどの道路が13mの12m。国の激甚災害にならなかったが、県の方で対応し、2月7日から始まり、おととい出来ました。御礼を申し上げたい。

→ よかったです。

⑮ 除雪について。老人福祉センターの向こう側のバイパスを国交省で雪はきをしている。バイパスから農道にいくところがある。150mの30mの5枚。雪で行けなくなっている。除雪機械が入れない。現在田圃に雪が70cmある。減反政策で2町歩の畑がある。そこに雪を置かないように市から国交省に申し入れしてもらいたい。高松地区では果樹振興会で基幹道路は全部はいているが、白岩はできていない。側道・農道部分の入り口の除雪をお願いしたい。

→ 国の方に言うておきたい。

⑯ 白岩小の6年になる娘がいる。今年度田代小と合併するというので、入学当初からいろいろ不安を抱えながら、親もうまくやっていけるのかと、特に田代小の少人数が白岩小に合併になるということで、田代小の子どもがうまくやっていけるか心配していた。季節の行事をこなしていく中でクラスがまとまってきて、学校も縦割り班活動で、1年生から6年生までの班で行動しているということで、田代小の子どももうまくコミュニケーションが取れている。まもなく卒業ではあるが、白岩小の父兄の立場からありがたく、合併できたことを感謝しています。

→ 田代小の子どもも、元気でなじんで、うれしく思っています。

⑰ 白岩小は高台にあり、大型バスが登ってこられなかった。特に冬の行事のスキー教室の時などは道具を下のところまで子どもたちが運んでバスに乗るというようなことだった。今年も2月に行われましたが、楯の道路拡張をしていただいたおかげでバス3台が体育館の裏に来ていただいた。子どもたちの安全面を考慮して、たいへんいい道路をつくっていただき、ありがたく思います。

→ 楯の道路も田代小が閉校になる前に完成すれば良かったのですが、ちょっとずれましたが、なんとか完成しております。

⑱ 屋内多目的運動場が今年開設になりましたが、娘が少年野球チームに入っていてすぐに活用させていただいた。中学校に入ってからソフトボール部に入るといふことで、これからも活用させていただけることに、ありがたく思っています。

→ チェリーナさがえをご利用いただいて、ありがとうございます。

⑱ 白岩地区のことではないのですが、寒河江市役所、ハートフルセンター、市の施設が大きな道路沿いにあるのですが、分かるような看板表示をしていただけないか。嫁に来て25年、来た時に市役所に行こうとしたら、本町通に銀行や歯医者看板が見えるのだから、市役所の看板がない。入ってから大きな建物が見える。未だに変わっていない。去年11月に県主催の研修会がハートフルセンターで行われた。その時、地元ということで役員をさせていただいた。役員の集合時間になっても集まりが悪かった。駐車場に立ってみると国道から入って来るが、通り過ぎて市役所まで行ってしまふ。下の方には歩行者が見て分かるブルーの看板があるが、運転者が見て分かる看板がないので、壁面の白い大きなスペースにハートフルセンターと、県内各地から、県外からもお越しいただくのであれば、表示の設置も考えていただければと思います。

→ 看板の話については、そういう声をいろいろ聴くのでぜひ検討していきたいと思います。ありがとうございました。